

令和 4 年度 教科の重点目標・実践事項

《 芸 術 》

1 重点目標

- (1) 芸術が人間性の発達、人類文化の発展に必要であることを理解させる。
- (2) 美的感覚と豊かな情操を養う。
- (3) 基礎的知識・技能を身に付けさせ、表現の喜びを体得させる。

2 実践事項

(1) 美 術

- ア 創作のもととなる基礎的技術を養成するため素描を重視するとともに制作能力をたかめる。
- イ 描画技術、各種版画、油彩の基礎技術を習得させ、表現力を身に付けさせる。
- ウ 完成作品を批評し合い名作の鑑賞をすることで、コミュニケーション力の向上をはかる。

(2) 音 楽

- ア 音楽の基礎的事項を養い演奏や鑑賞を楽しむことができるようにする。
- イ 表現と鑑賞の能力を高め音楽を深く愛好する心を育てるとともに日本伝統音楽への理解を深める。
- ウ 音楽の知識や技能を高めることにより、文化全体の伝統と社会との関わり、その必要性について研究する。

(3) 書 道

- ア 基本的な技術と態度を確かめつつ、「書写」から「書道」への移行を実践する。
- イ 古典の鑑賞と臨書を通じて表現力の向上を図るとともに、書の文化や伝統についての理解を深める。
- ウ 創作の意義と表現方法を理解させ美を追究する姿勢と書芸術を愛好する心を育てる。